

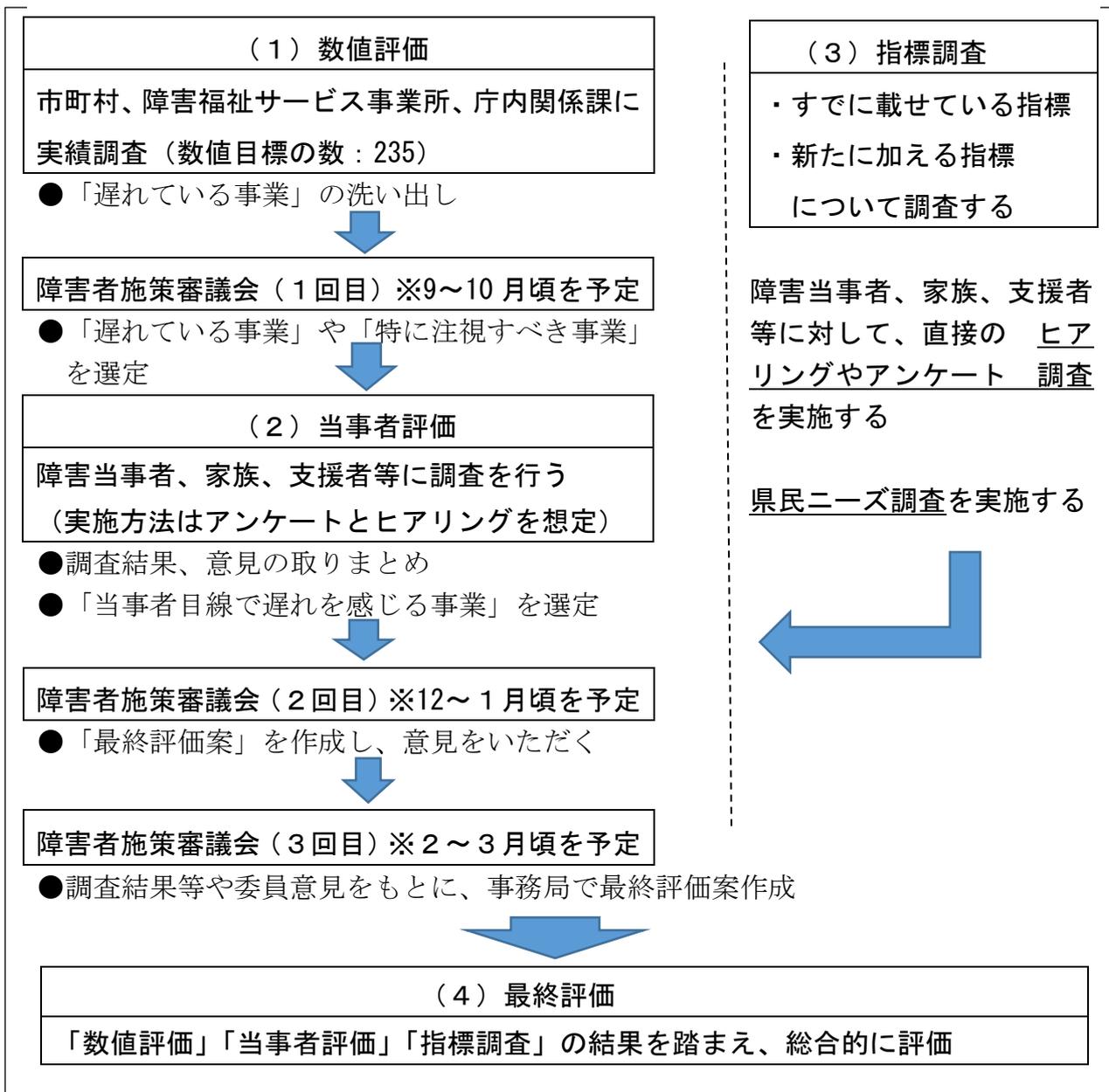
「当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～  
に基づく基本計画」の評価及び調査方法（案）について

1 方向性と全体のイメージ

本計画の評価方法については、これまでの意見を踏まえ、既存の実績値評価である「数値評価」に加えて、新たに障害当事者等から直接意見をいただく「当事者評価」を行い、この2つを取りまとめて「最終評価」を示すこととしたい。

また、新たに加える「当事者目線の指標」の調査については、この「数値評価」及び「当事者評価」に係る調査と合わせて行い、本計画を基に、地域共生社会の実現に向けて進めているか、その達成度を公表することとしたい。

◆計画の評価の流れ（毎年度）イメージ



## 2 各評価における調査の実施方法（調査イメージ）

### (1) 数値評価

(1) 数値評価
市町村、障害福祉サービス事業所、庁内関係課に実績調査 (数値目標の数：235)

- ①厚生労働省の基本指針に基づく成果目標 (28)
- ②厚生労働省の基本指針に基づく活動指標 (31)
- ③障害福祉サービスの見込量 (29)
- ④県の地域生活支援事業の見込量 (51)
- ⑤県独自の数値目標 (96)

#### ●調査内容

上記①～⑤の各数値目標に関して、年度ごとに実績調査を行う。  
実績値と目標値を精査し、数値的に「遅れている事業」を抽出するほか、  
1回目の障害者施策審議会で「特に注視すべき事業」を選定し、(2)の「当事者  
評価」に臨む。

#### ●実施方法

メールで調査対象に照会する。

#### ●調査対象

市町村  
障害福祉サービス事業所  
庁内関係各課

#### ●スケジュール

- 市町村、障害福祉サービス事業所
  - 令和7年5月 調査開始（電子メールで依頼、回答）
  - 8月 集計、遅れている事業の抽出を行う
  - 9月 障害者施策審議会に報告
- 庁内関係各課
  - 令和7年4月 調査開始
  - 6月 集計、遅れている事業の抽出を行う
  - 9月 障害者施策審議会に報告

(2) 当事者評価

<p>(2) 当事者評価</p>										
<p>しょうがいとうじしや かぞく しえんしゃとう ちょうさ おこな 障害当事者、家族、支援者等に調査を行う じっしほうほう そうてい (実施方法はアンケートとヒアリングを想定)</p>										
<p>ちょうさないよう ● 調査内容</p> <p>すうちょうさ あら だ おく じぎょう とく ちゅうし じぎょう くわ 数値調査で洗い出された「遅れている事業」や「特に注視すべき事業」に加え、 とうじしやめせん おく かん じぎょう ちょうさ おこな 「当事者目線で遅れを感じる事業」の調査を行う。</p> <p>また、これらについて、「日頃から感じていること」など補足調査を行う。 すうちか ないよう けいさいほうほう けんとうちゅう (数値化できない内容の掲載方法については検討中)</p>										
<p>① ヒアリング調査</p> <p>ちょうさほうほう ● 調査方法</p> <p>ちいきじりつしえんきょうぎかい しょうがいとうじしやぶかい しょうがいじしやしせつとう で む 地域自立支援協議会、障害当事者部会、障害児者施設等に出向いて、もしくは オンラインでヒアリングを行う。 おこな</p>										
<p>ちょうさいしやう ● 調査対象</p> <p>しょうがいとうじしや かぞく しえんしゃとう 障害当事者、家族、支援者等 かくだんたいどう きょうりよく いらい しょうがいふくしか はあく だんたい やく だんたい (各団体等に協力を依頼する ※障害福祉課で把握している団体は約70団体)</p>										
<p>② アンケート調査</p> <p>ちょうさほうほう ● 調査方法</p> <p>インターネット (県電子申請システムe-kanagawa)、難しい場合は郵送する。 ※「障害福祉情報 サービスかながわ」を使用し、周知を行う。</p>										
<p>ちょうさいしやう ● 調査対象</p> <p>しょうがいとうじしや かぞく しえんしゃとう 障害当事者、家族、支援者等</p>										
<p>● スケジュール</p> <table><tr><td>れいわ ねん がつ 令和7年4月</td><td>ちょうさききょうりよくいらい 調査協力依頼</td></tr><tr><td>5～9月</td><td>ちょうさききけつてい ちょうさきき ちょうさき きちかくてい 調査先決定 それぞれの調査先ごとに調査時期確定</td></tr><tr><td>10月</td><td>ちょうさかいし 調査開始</td></tr><tr><td></td><td>しゅうけい 集計</td></tr><tr><td>12～1月</td><td>しょうがいしやせさくしんぎかい ほうこく 障害者施策審議会に報告</td></tr></table>	れいわ ねん がつ 令和7年4月	ちょうさききょうりよくいらい 調査協力依頼	5～9月	ちょうさききけつてい ちょうさきき ちょうさき きちかくてい 調査先決定 それぞれの調査先ごとに調査時期確定	10月	ちょうさかいし 調査開始		しゅうけい 集計	12～1月	しょうがいしやせさくしんぎかい ほうこく 障害者施策審議会に報告
れいわ ねん がつ 令和7年4月	ちょうさききょうりよくいらい 調査協力依頼									
5～9月	ちょうさききけつてい ちょうさきき ちょうさき きちかくてい 調査先決定 それぞれの調査先ごとに調査時期確定									
10月	ちょうさかいし 調査開始									
	しゅうけい 集計									
12～1月	しょうがいしやせさくしんぎかい ほうこく 障害者施策審議会に報告									

(3) 指標の調査 (県民ニーズ調査、ヒアリング調査等)

(3) 指標調査
・すでに載せている指標 ・新たに加える指標 について調査する

● 調査内容

①、②の指標について、調査を行う。

① 障害のある人が身近で普通に生活しているのが当たり前と思う割合 (既存)

【質問】 障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だという考え方についてどう思いますか。

- 【選択肢】 ① そう思う ② どちらかといえばそう思う  
③ どちらかといえばそう思わない ④ そう思わない

※ 「なぜそう思うか」「どのような場面でそう思うか」なども聴き取る。

② 障害のある人が日ごろの生活のなかで不自由を感じている割合 (新規)

【質問】 障がいにより日ごろの生活のなかで困ったり、不自由を感じることはありませんか。

- 【選択肢】 ① 感じている ② どちらかといえば感じている  
③ どちらかといえば感じていない ④ 感じていない ⑤ 特になし

※ 「不自由を感じているか」とあわせて、「感じている不自由の内容」のほか、「どうすればその不自由が減ると思うか」なども聴き取る。

● 調査方法

ヒアリングやアンケート調査及び県民ニーズ調査を実施する。

※ 「障害福祉情報サービスかながわ」を使用し、周知を行う。

● 調査対象

障害当事者、家族、支援者等

※ 「(2) 当事者評価」の調査対象と同様

※ 県民ニーズ調査は、県民全体から無作為抽出された満18歳以上の県民3千人

● スケジュール

(2) 「当事者評価」に合わせて実施

・ヒアリングやアンケート調査 令和7年9月～10月

・県民ニーズ調査 令和7年7月～8月予定、結果は12月頃に公表予定

(4) さいしゅうひょうか  
最終評価

(4) さいしゅうひょうか  
最終評価

すうちひょうか とうじしゃひょうか しひょうちょうさ けっか ふ そうごうてき ひょうか  
「数値評価」「当事者評価」「指標調査」の結果を踏まえ、総合的に評価

● ひょうか  
評価のイメージ (別紙 1～3 参照)

これまでの「数値評価」「当事者評価」「指標調査」の結果と合わせて、  
「考察と今後の取組の方向性」を加えた総合的な評価を行う。

● ひょうか けっか しめ かた べっし さんしゅう  
評価結果の示し方 (別紙 1 参照)

① ひょうかひょう かしょう さくせい  
「評価表 (仮称)」の作成

べっし ひょうかひょう かしょう さくせい おおぼしら そうごうてき ひょうか しめ  
別紙 1 「評価表 (仮称)」を作成し、4つの大柱ごとに総合的な評価を示す。

② じっせきひょうか かしょう さくせい  
「実績評価シート (仮称)」の作成

すうちひょうか けっか べっし じっせきひょうか さくせい  
「数値評価」の結果については、別紙 2 「実績評価シート」を作成し、  
じぎょう しんちよくじょうきょう だんかい ひょうか しめ  
事業ごとの進捗状況を「A」～「D」の4段階で評価を示す。

③ おく じぎょう とうじしゃめせん おく かん じぎょうとう ひょうか かしょう さくせい  
「遅れている事業、当事者目線で遅れを感じる事業等の評価シート (仮称)」の作成

べっし おく じぎょう とうじしゃめせん おく かん じぎょうとう ひょうか かしょう  
別紙 3 「遅れている事業、当事者目線で遅れを感じる事業等の評価シート (仮称)」  
を作成し、「遅れている事業」と「当事者目線で遅れを感じる事業」について、評価  
さくせい おく じぎょう とうじしゃめせん おく かん じぎょう ひょうか  
結果や聴取した意見を落とし込み、「今回の評価」として考察と今後の取組の  
けっか ちょうしゅ いけん お こ こんかい ひょうか こうさつ こんご とりくみ  
ほうこうせい ぐわ  
方向性を加えまとめる。

さくせい  
(作成イメージ)

れいわ 7 ねん ど    どうじしゃめせん    しょうがいふくしすいしんじょうれい    い  
令和 7 年度「当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる  
しゃかい    め    ざ    もと    きほんけいかく    ひょうかひょう    かしょう  
社会を目指して～に基づく基本計画」評価表（仮称）

おおばしら    ひょうか  
4 つの大柱ごとの評価

<p>I    ひと    たいせつ    とりく すべての人のいのちを大切にす取組み</p>
<p>ひょうか (評価)</p> <p>れい    けんりようご    すいしん    ひょうか    こんご    じょうきょう    けいぞく 例) 権利擁護の推進については、A評価であり、今後もこの状況を継続できるよ うにする。</p> <p>いっぼう    しょうがいふくし    ささ    じんざい    かくほ    いくせい    ひょうか 一方、障害福祉を支える人材の確保・育成は D 評価であり、〇〇、〇〇分野につい て例えば●●を実施する等の一層の取組みが必要である。</p>
<p>II    だれ    ひと    く    ちいきしゃかい    じつげん    とりく 誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現する取組み</p>
<p>ひょうか (評価)</p>
<p>III    しょうがいしゃ    しゃかい    さんか    さまた    かべ    へんけん    さべつ 障害者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別 はいじょ    とりく も排除する取組み</p>
<p>ひょうか (評価)</p>
<p>IV    ちいききょうせいしゃかい    じつげん    む    けんみんそう    とりく 地域共生社会の実現に向けた県民総ぐるみの取組み</p>
<p>ひょうか (評価)</p>

じっせきひょうか  
実績評価シート (仮称)

こう 目 項 目	もく びょう 目 標 (R9年度)	じっ せき 実 績				ひょう か 評 価	
		ねん 度 R5年度	ねん 度 R6年度	ねん 度 R7年度	ねん 度 R8年度	ねん 度 R7年度	ねん 度 R8年度
○○を行う しちょうそんすう 市町村数	33市町村	○市町村	○市町村	○市町村	○市町村		
○○を行う しちょうそんすう 市町村数	33市町村	○市町村	○市町村	○市町村	○市町村		



ひょうか ぶん 評価区分	きじゆん 基準	じぎょうじっせき めやす 事業実績の目安
A	じゆんちよう すす 順 調に進んでいる	もくひょう たっせい 目標を達成したもの (100%)
B	おおむ じゆんちよう すす 概ね順 調に進んでい る	あとすこ もくひょう たっせい あと少しで目標を達成できるもの (100%未満80%以上)
C	ややおく やや遅れている	もくひょうたっせい とりくみ くふう ひつよう 目標達成まで取組に工夫が必要なもの (80%未満60%以上)
D	おく 遅れている	もくひょうたっせい とりくみ いっそう くふう ひつよう 目標達成までの取組に一層の工夫が必要なもの (60% 未満)

◆「遅れている事業、当事者目線で遅れを感じる事業評価シート(仮称)」

おおばしら 大柱	(中柱) すべての人のいのちを大切にする取組み
1	(取組みの方向性) すべての人の権利を守るしくみづくり

※ 当事者目線で遅れを感じる項目ごとに記載

＜成果目標の達成状況＞

把握すべき状況① 障害者虐待の防止

成果目標	年度	目標値	実績値	達成率	評価	主な取組による結果
障害者虐待防止・権利擁護研修の累計修了者数(人)	R5	/	●	/		○障害者虐待防止・権利擁護研修を実施した。 ・市町村担当職員コース【修了者●人】
	R6	●	●	●	●	
	R7	●	●	●	●	
	R8	●	●	●	●	

※評価は実績評価と同様にA～Dで記載

(遅れている状況、当事者目線で遅れを感じる事業とした理由)

- 

＜当事者評価(意見)＞

(当事者)

- 

(家族)

- 

(支援者)

- 

(その他)

- 

＜今回の評価＞

(評価の理由)

(考察、今後の方向性)

さんこう  
(参考)

こんご しんぎかいとう よてい  
○今後の審議会等のスケジュール (予定)

れいわ ねん がつ 令和7年 2月	だい かいしやうがいしやせさくしんぎかい 第43回障害者施策審議会
3 がつ 3月	けんみん ちょうさ ちょうせい 県民ニーズ調査の調整
7～8 がつ 7～8月	けんみん ちょうさきかん しつもんし 県民ニーズ調査期間 (質問紙、インターネット)
9 がつ 9月	しょうがいしやせさくしんぎかい かいめ 障害者施策審議会 (1回目) ★数値評価の結果からおく じぎょうとう あら だ ★数値評価の結果から遅れている事業等の洗い出し
10～11 がつ 10～11月	しんぎかいかいさいご とうじしやひょうか かいし ★審議会開催後に当事者評価を開始
12月～1 がつ がつ 12月～1月	しょうがいしやせさくしんぎかい かいめ 障害者施策審議会 (2回目) ★ちょうさけつか さいしゅうひょうかあん けんとう ★調査結果をもとに最終評価案を検討
れいわ ねん がつ 令和8年 2月	しょうがいしやせさくしんぎかい かいめ 障害者施策審議会 (3回目) ★さいしゅうひょうか ほうこく ★最終評価の報告
3 がつ 3月	ひょうかけつか こうひょう けん 評価結果を公表 (県ホームページ)

ちゅうかんみなお む よてい  
○中間見直しに向けたスケジュール (予定)

れいわ ねんど しひょうおよびひょうかほうほう けんとう  
令和6年度 指標及び評価方法の検討

れいわ ねんど れいわ ねんど ひょうか しんしひょう ちょうさかいし  
令和7年度 令和6年度の評価+新指標の調査開始

れいわ ねんど れいわ ねんど ひょうか しんしひょう ちょうさき もと もくひょうち せってい  
令和8年度 令和7年度の評価+新指標の調査に基づき目標値を設定

ちゅうかんみなお あん さくせい  
⇒中間見直し案の作成

---

れいわ ねんど ちゅうかんみなお ご けいかくかいし  
令和9年度～ 中間見直し後の計画開始